

# 銅 建値1万円続伸 149万円 円安でジリ高

国内銅相場はジリ高の基調で月替わりに差し掛かっている。JX金属は29日、銅建値を前回(24日)比1キあたり10円上げの1,490円に改定した。10月の月間推定平均は1,478.0円。海外銅市況は同値圏で揉み合う地合いにある一方、為替市場の円安がさらに進んだことが国内建値を押し上げた。これを受け、スクラップの市中価格は7~17円がた値上がりした。

銅建値の改定に伴い、黄銅削り粉建値は17円上げの1,076円に上昇。28日に亜鉛建値が上伸したことが加味された。銅スクラップの市中実勢価格(関東地区)は1号銅線が1,310~1,325円、下銅が1,180~1,190円、黄銅削り粉が910~920円見当に値上がりした。



直近の銅建値は為替要因で続伸する展開になっている。29日のTTSは1ドル=153.93円で、前回の建値改定時に比べ0.14円の安値。中旬ま

で軟調だった銅建値だが、下旬はこの円安が支援材料となっている。

これに対し、指標LME銅相場は依然として方向感に乏しい基調にある。現地28日の価格(セツルメント)は前日比17ドル高の9,402ドル。中国の景気刺激策が下支えする推移だが、当面は11月5日に行われる米大統領選をめぐる不透明感で膠着する公算が大きい。国内銅建値は目先も為替に左右される展開が続くそうだ。

## ■建値月間平均は前月比キ110円高

この日の改定により、銅建値の10月平均は1,478.0円で月内を終える見通し。9月平均(1,367.3円)に比べ110.7円高で、2カ月連続の上昇になる。

	28日前場	前日比(€/t)	在庫量	前日比	前月平均
銅	9,402.00	17.00	276,100	-675	9,254.50
鉛	1,990.00	-31.00	190,175	-300	2,007.36
亜鉛	3,105.00	27.00	247,075	4,650	2,840.79
アルミ	2,610.00	9.50	746,200	-2,500	2,451.67
ニッケル	15,810.00	-110.00	143,244	7,722	16,117.86
錫	31,350.00	175.00	4,705	-25	31,643.81
金(NY)	2,755.90	1.30	-	-	2,601.18
原油(NY)	67.38	-4.40	-	-	69.37
為替TTS(€/円)	153.93	-0.52	-	-	144.55

※金は1troy ounceあたり※原油は1バレルあたりの24年12月限※為替は日本時間10月29日のTTS

## 日高金属、栃木県に約1万3000坪の屋内ヤードを開設

(栃木)金属スクラップのリサイクルを手掛ける日高金属(本社=埼玉県日高市、杜紅霞社長)は9月、栃木県にスクラップの加工処理拠点「栃木塩谷営業所」を開設した。同営業所では電線類などを中心に扱い、今後は銅のリサイクル原料の供給力を一層強化していく方針だ。

同営業所の所在地は栃木県塩谷郡塩谷町田所1601-8。設備はナゲットプラント2カ所、重機、トラックスケールなどを備えている。ナゲットプラントのうち1カ所には、エイチエムコーポレーション(本社=大阪府大阪市、曹洋社長)が販売するフランスのMTB社製ナゲット機「ケーブルボックス」を採用。同機は電線類であれば、種類に関係なく混ざった状態でも処理でき、高品質の銅ナゲットを生産することができる。



広々とした屋内

同営業所は大手電線メーカーの生産工場の跡地ということもあり、

約1万3000坪の広大な敷地に開放感のある大きな建屋が設置されている。そのため騒音や塵・埃の飛散の心配はなく、環境にも優しい完全屋内型ヤードとして稼働している。今後は同営業所に、



導入したMTB社製ナゲット機「ケーブルボックス」

エアコンラジエーターを処理する専用プラントを導入する予定で、銅のリサイクル率の向上を目指す。また同社によれば全てのプラントが本格稼働した場合、1日の売上は最大で約1億円を上げることが可能となるという。同社は埼玉県や千葉県にも拠点を展開しているが、各拠点で処理しきれないスクラップを同営業所に集約し、稼働率の向上にも注力していく考えを示している。開設について于洪涛専務は「銅をリサイクルすることで、カーボンニュートラルなどの環境保全に貢献できる。扱い数量を伸ばし、今後も原料供給に努めていく」と話す。

【詳細はメタル・リサイクル・マンスリー11月号に掲載】